

2006.03.06
 斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

対岸を望む

【内容】宍道湖の湖岸及び大橋川の河岸より見た対岸の景観を整理した。

- 【概要】
- ・北岸からは、南岸の集落、山並みと宍道湖の水面を望むことができる。
 - ・西岸からは、北岸の山並みと一体となった宍道湖、南岸の集落や山並みを眺めることができる。
 - ・南岸からは、北岸の山並みと一体となった宍道湖を眺めることができる。

- ・南岸の玉湯から松江市街地を眺めることができる。
- ・松江市街地周辺は大橋川を挟んで、ビル群を眺めることができる。
- ・大橋川下流から集落と背後に大山を望める。

■大野から簸川平野
 簸川平野と背後に仏経山と三瓶山を望む

■長江から来待・宍道
 沿道から、南岸の集落と背後の緩やかな山並みを望む

■十六禿から玉湯
 湖岸の砂浜から、うっすらと玉湯の街並を望む

■松江しんじ湖温泉から美術館と嫁ヶ島
 北岸の親水空間から、対岸の美術館や夕日スポットなどを望む

■大橋川上流から対岸（大橋付近）
 北岸の末次本町から、魚町等、南岸の都市的風景の市街地を望み、南岸の白濁本町の建物から、松江城や末次本町等、北岸市街地を望む

■卸団地から松江しんじ湖温泉
 国道9号の湖岸沿いから、嫁ヶ島と松江しんじ湖温泉、背後の山並みを望む

■宍道から北山山地
 ヨシ植生の中から北岸の山並みと一体となった宍道湖を望む

■宍道湖西岸なぎさ公園から宍道
 堤防内の緩やかな斜面から南岸のまちや山並みを望む

■宍道から出雲空港
 国道9号を走る車の車窓から出雲空港を望む

■旧国民宿舎から松江市街地
 国民宿舎の湖畔側の芝生広場から十六禿や松江市街地を望む

■玉湯から松江市街地
 玉湯から松江市街地を望む

■大橋川下流から対岸
 北岸の福富から、ヨシ植生と対岸の馬湯、背後に大山を望む

2006.03.06

斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

宍道湖水辺八景

【内容】宍道湖における良好な景観の代表として、後世に継承していくべき風景を一般の方から募集し、有識者で構成する委員会において選定された「宍道湖水辺八景」を整理した。

8 グリーンパークの夏



子供たちも安心して水辺に近づくことができるこの場所は、四季を通じて多くの人々に親しまれています。

4 冬の十六禿(じゅうろくはが)



遠くに見える県立美術館と十六禿、多くの冬鳥たちが休むこの風景は、後世に伝えて行くべき良好な水辺の風景だといえるでしょう。

3 秋の満願寺灘



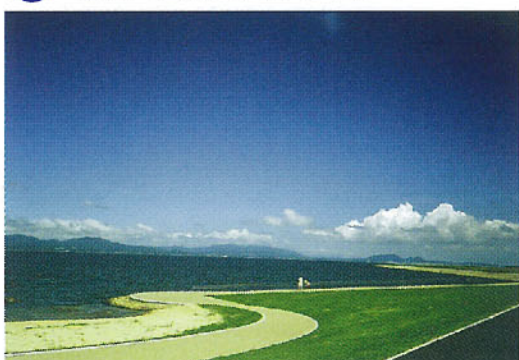
紅葉した木々、澄んだ水が秋の季節感を鮮明にしています。後世に伝えたい良好な水辺の風景です。

5 美術館のある水辺



白潟公園から県立美術館にかけては、きれいに整備されたウォーターフロントです。今後も人々の安らぎの場所として愛され続けることが期待されます。

2 夏の空港なぎさ公園



周辺からのアクセスも良く、宍道湖の素晴らしい眺めも楽しむことができます。

7 亀のいる風景



何も云わずに釣り竿をもつ石の亀。この場所は、地元の人々に祭りや花火など多目的に活用されています。

1 春の玉湯湖畔



美しい砂浜が唯一残る玉湯湖畔。かつては海水浴ができた場所でもあるので、癒しの場所として人々が訪れることが期待されます。

6 嫁ヶ島残照



宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島。水面を赤く染め宍道湖に沈みゆく夕日と嫁ヶ島のシルエットが大変美しく、多くの人々がその景色を見るために訪れます。



一日の中で

【内容】時間帯によって見られる景色を場所とともに整理した。

【概要】一日の時間軸を視点として、宍道湖沿岸で見る朝のシジミ漁、宍道湖北岸から見る逆光できらめく湖面、宍道湖東岸から見る夕日、松江市街地の夜景や、玉湯から見る松江市街地の夜景などがあげられる。



■朝の景 (宍道湖グリーンパークから見た日の出)



宍道湖グリーンパークから松江方面を望む宍道湖対岸から上る朝日と湖岸の植生が美しい景観

■昼の景 (宍道湖北岸のきらめく湖面)



湖岸沿いを走る道路では、車窓から湖面を照らす光を感じながら移動出来る

■朝の景 (大橋川の夜明け)



宍道湖大橋より大橋川を望む朝日に染まる川面と松江市街地

■夜の景 (カラコロ広場のライトアップ)



松江城周辺の観光資源である堀川遊覧。その発着場のひとつとなっているカラコロ広場のライトアップ

■夜の景 (大橋川の夜景)



市街地を貫流する大橋川の両岸では、夜になると、橋の照明、業務施設、飲食店の明かりが水面に映る

■夕の景 (宍道湖の夕日)



小泉八雲をはじめとし、多くの文豪達も愛した宍道湖の夕日。湖岸沿いに整備された親水空間から、最も美しい夕日を楽しめる

■夜の景 (松江市街地の夜景)



玉湯からは、松江市街地の灯りが湖面に映り魅力的な夜景が楽しめる

■朝の景 (宍道湖のシジミ漁)



宍道湖の朝の風物詩であるシジミ漁は、湖岸のいたるところで見ることが出来る

- 凡例
- 朝に見られる景色
 - 昼に見られる景色
 - 夕に見られる景色
 - 夜に見られる景色

【内容】季節によって見られる景色を場所とともに整理した。

【概要】春は玉湯川と松江城の桜、夏は花火にヨットやレガッタ、秋はハゼ釣り、冬是水鳥や大山が宍道湖・大橋川周辺の水辺に彩りを添える。

■冬の景（湖面に浮かぶ水鳥）



宍道湖に飛来する水鳥は、冬の宍道湖を代表する景色

■夏の景（秋鹿なぎさ公園のヨット）



マリンスポーツを楽しむ様子は、夏の宍道湖に賑わいを添える

■冬の景（雪をいただく大山）



秋鹿から松江市街地の背後に、雪を被った大山が迫力ある姿に見える

■秋の景（湖岸でハゼ釣り）



宍道湖湖岸や、防波堤などで見られる秋のハゼ釣り

■春の景（松江城の桜）



松江城の桜は、春の松江の観光名所として多くの人が訪れる

■夏の景（大橋川のボート）



大学や高校のボート部の練習や大会の場として利用する他、市民レガッタのイベントが開催されるなど、夏の大橋川で見られる景色

■夏の景（宍道湖の花火）



宍道湖の湖面から打ち上げられる花火は、夏の夜空と湖面を彩る

■春の景（玉湯川の桜並木）



春になると玉湯川の両岸の桜は満開となり、多くの花見客で賑わう



凡例

春に見られる景観
夏に見られる景観
秋に見られる景観
冬に見られる景観

2006.03.06

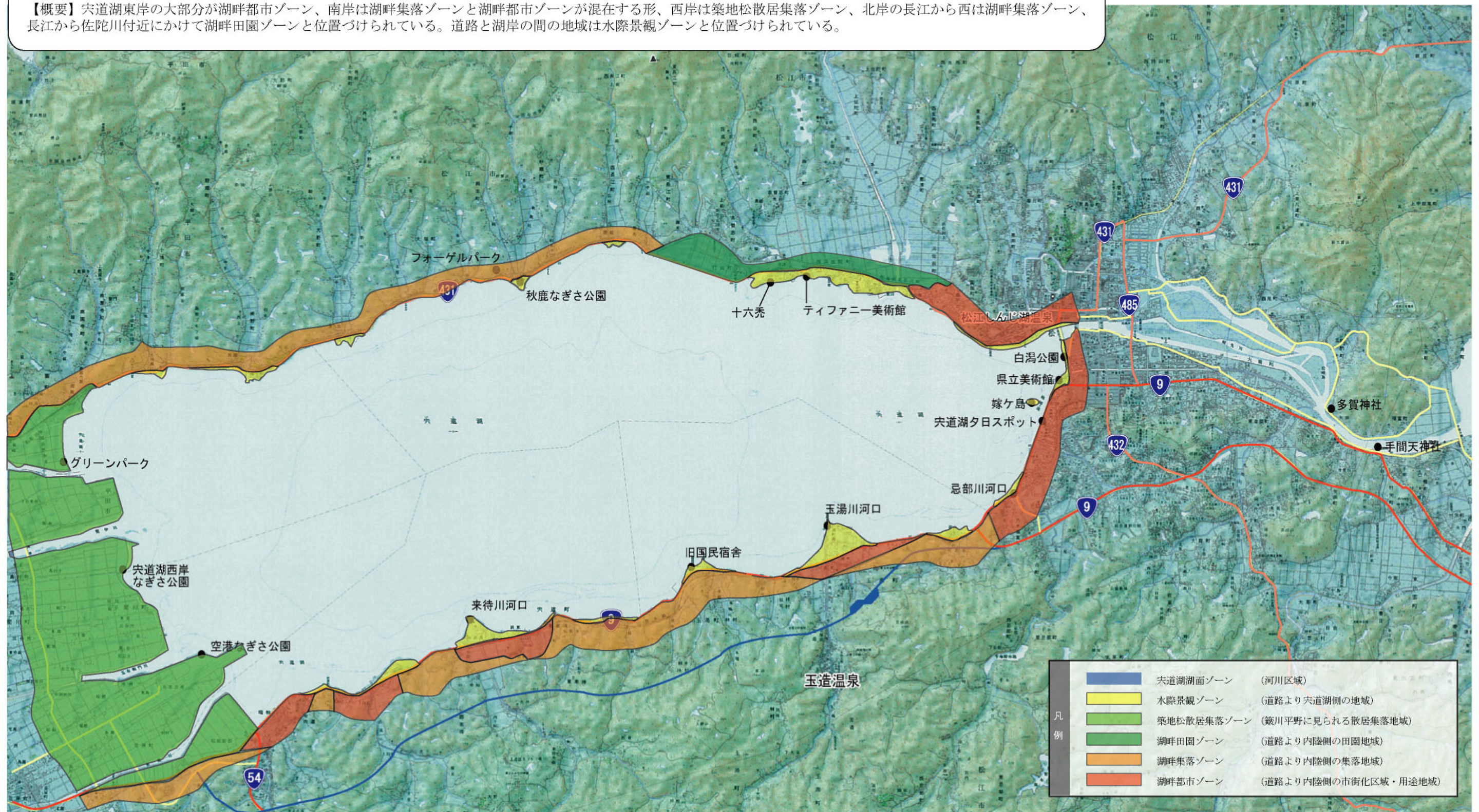
斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

宍道湖景観形成地域

景観⑤

【内容】「ふるさと島根の景観づくり条例」に基づき、地域の特性を生かした魅力ある景観づくりを進めるために平成5年に指定された「宍道湖景観形成地域」を掲載。

【概要】宍道湖東岸の大部分が湖畔都市ゾーン、南岸は湖畔集落ゾーンと湖畔都市ゾーンが混在する形、西岸は築地松散居集落ゾーン、北岸の長江から西は湖畔集落ゾーン、長江から佐陀川付近にかけて湖畔田園ゾーンと位置づけられている。道路と湖岸の間の地域は水際景観ゾーンと位置づけられている。



【参考資料】：宍道湖地域景観形成計画（島根県）